

## 5 追加機能の説明と使用方法

### 5-1 制御文字変換出力機能

読み取ったバーコードに制御文字が含まれていた場合に、制御文字を他の文字に置き換えるか、もしくは削除して出力することができます。置換前もしくは削除対象の文字は、任意の制御文字を複数指定することができます。置換後の文字は、任意の制御文字以外の文字を複数指定することができます。

置換・削除可能な文字(置換前の文字)

- ・ ASCII コード= 00h～1Fh、7Fh の制御文字

置換後の文字

- ・ 任意の半角英数字・記号(ASCII コード=20h～7Eh)

#### ■ 制御文字の変換定義ファイル

変換方式は、下記の変換定義ファイルで指定します。変換定義ファイルを下記の保存先に置いた状態でデバイス本体をリセットするか、**OBRLoadConfigFile** 関数および **OBRSetDefaultSymbology** 関数をコールすると、設定内容が反映されます。

変換定義ファイルがない場合は、制御文字の変換は行われません。

ファイル名 : OBRDRV\_R.ini

保存先 : ¥Windows フォルダ

## OBRDRV\_R.ini ファイルの形式

[ConvSrc]	セクション[ConvSrc]に、置換対象の文字を指定します。
Code <i>NN</i> =0x <i>HH</i>	「 <i>NN</i> 」部分に 01 から始まる通し番号を指定してください。最大 33 個まで指定することができます。
(例)	「 <i>HH</i> 」部分に制御文字の ASCII コードを 16 進数で指定してください。
Code01=0x1D	
Code02=0x0A	
[ConvDst]	セクション[ConvDst]に、置換後の文字を指定します。
Char <i>NN</i> = ' <i>X</i> '	「 <i>NN</i> 」部分に、上記のセクション[ConvSrc]に対応する通し番号を指定してください。最大 33 個まで指定することができます。
(例)	置き換える文字は、左記のようにシングルクォーテーションで囲って、「 <i>X</i> 」部分に任意の 1 文字を指定してください。
Char01= '/'	
Char02= '@'	
[Delete]	セクション[Delete]に、削除対象の文字を指定します。
Code <i>NN</i> =0x <i>HH</i>	「 <i>NN</i> 」部分に 01 から始まる通し番号を指定してください。最大 33 個まで指定することができます。
(例)	「 <i>HH</i> 」部分に制御文字の ASCII コードを 16 進数で指定してください。
Code01=0x02	
Code02=0x03	

- 上記の例では、制御文字 0x1D を '/' に、0x0A を '@' に置換して出力します。制御文字 0x02、0x03 は削除されます。
- セクション[ConvSrc]と[Delete]に同一の文字が指定されていた場合は、Delete の指定が優先されます。
- セクション[ConvSrc]に指定された番号が[ConvDst]にない場合、またはその逆の場合は、変換は行われません。

■ 制御文字の変換例

以下のバーコードデータを読み取ったときの変換例を以下に示します。

制御文字の変換例

OBRDRV_R.ini	変換前のバーコードデータ	変換後のバーコードデータ
[ConvSrc] Code01=0x1D Code02=0x0A		
[ConvDst] Char01='/' Char02='@'	01230x0A45670x1D890x0201  (青文字部分が制御文字を表しています)	0123@4567/8901  ・0x0A は'@'に、0x1D は'/'に置換されます。 ・0x02 は削除されます。
[Delete] Code01=0x02 Code02=0x03		

5-2. Code128 FNC1 変換出力対応(新規機能)

FNC1 の含まれる Code128 を読み取った場合に、FNC1 を制御文字の GS(1Dh)に置き換えて出力する機能を追加しました。

従来は Code128(GS1-128)の最初のデータが FNC1 だったときに、バーコード内に含まれる FNC1 を GS に置換する機能を持っていましたが、最初のデータが FNC1 でない場合にも置換することができるようになりました。

(2 番目に FNC1 があった場合は、Code128 規格に則り出力しません)

条件	動作	備考
先頭のデータが FNC1 のとき	読み取ったバーコードは GS1-128(EAN128)コードとして認識されます。バーコード内の FNC1 キャラクタを文字 GS(1Dh)として出力することができます。	従来機能
2 番目のデータが FNC1 のとき	FNC1 キャラクタは出力されません。	従来機能
3 番目以降のデータが FNC1 のとき	FNC1 キャラクタを文字 GS(1Dh)として出力することができます。	追加機能

使用方法

FNC1 の変換出力機能を使用する場合は、レーザースキャナ設定ファイル(¥FlashDisk¥System Settings¥OBRDRV.ini)の[CODE128 Option]セクションに以下の記述を追加してください。

```
[CODE 128 Option]
CODE128_MIN=2
CODE128_MAX=82
CODE128_OUTFORMAT=0
CODE128_CHKD=1
CODE128_CHKCH=0
CODE128_EXTENSION=1 ←この 1 行を追加してください
```

レーザースキャナ読み取りツールを使用している場合は、上記を追加後に同ツールを再立ち上げしてください。それ以外の場合は、デバイス本体を再起動してください。